

令和5年度 第5回 印西市立図書館協議会会議録 要旨

- 1 開催日時 令和6年2月29日(木) 午前10時00分から午後11時45分
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席委員 竹原委員、永田委員、石ヶ谷委員、倉沢委員、黒澤委員、関口委員、栗山委員
- 4 欠席者 安川委員、武井委員、石渡委員
- 5 事務局 秋谷大森図書館長、伊藤大森図書館副館長、伊藤主査、齊藤主査、吉野主査、株式会社都市環境計画研究所より3名
- 6 傍聴者 5名
- 7 会議内容 議 事
 - (1) 印西市立図書館サービス計画(案)について
 - (2) 令和6年度印西市立図書館運営方針(案)及び令和6年度印西市事業計画(案)について
 - (3) その他
- 8 その他

会議要旨(要点筆記)

【会議公開に伴う傍聴席の設置と会議録作成のための録音機材の設置の了解】

【大森図書館長あいさつ】

【委員長あいさつ】

(進 行) 議事に入らせていただく前に、次第4の答申に入りたいと思います。
委員長から大森図書館長に答申をお願いいたします。

(委員長) 「答申を読み上げる。」

(進 行) ありがとうございました。
ここで、大森図書館長よりお礼のご挨拶を申し上げます。

(館 長) 「館長お礼の挨拶」

(進 行) それでは、議事に入らせていただきたいと思います。
議事進行につきましては、印西市立図書館設置条例施行規則第21条第1項の規定により、委員長が議長となることとされており

ますので、倉沢委員に議長をお願いいたします。

(議 長) それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。
会議の円滑な進行にご協力をお願いしたい。

【会議録署名委員の指名】

(議 長) はじめに、本日の会議録署名委員の指名を行う。
名簿順にお願いしておりますので、今回は、10番の栗山委員を指名させていただきます。

【議題】

議題（1） 「印西市立図書館サービス計画（案）について

(議 長) それでは、議事に入らせていただく。議題（1）「印西市立図書館サービス計画（案）について」、事務局より説明をお願いしたい。

(事務局) < 配布資料1に基づき説明 >

(議 長) それでは、「印西市立図書館サービス計画」（案）について事務局より説明があったが、この内容に関して質疑等あるか。

(委 員) まず、議題に入る前に任期最後の会議となると思うがこれからの予定、29日以降の予定を教えてください。
まだ、意見がたくさんあって郵送でのやり取りだけでは全部出しきれていない。今回意見等を見せていただいて、まだ意見はある。
それで、この後どういうやり取りになるかという事を含めてお願いしたい。

(事務局) 大きな変更はできないと思われるが、意見をいただき3月中旬に原稿入稿となるので、それまでに修正が出来ればと思っている。

(議 長) 今日、色々と意見を出してもらい、図書館協議会としてみなさんの了承を得れば、それを図書館の方で検討してもらおうということになるのか。
もちろん、私達は、協議会として意見を申し上げている。
修正等は、そちらで判断していただくが、その結果の報告をきちんと返してもらわないといけないと思う。

(委 員) そもそも図書館サービス計画は大事なもので、本来、市民アンケートも

館内アンケートでと言っていたのを意見を取り入れて、無作為抽出のアンケートに変えていただいたことには、大変感謝している。ただ、印西市民からの返答の枚数が少ないのは、すごく残念だと思った。ただ、意見を聞いていただいて、アンケートをきちんと全市民に向けて発してくれたことに感謝している。このサービス計画については、向こう10年で大変大事なことになる訳で、今回は、答申にかなりの時間を取られてしまい、サービス計画については、ほとんどディスカッションする時間がなく、ほとんどが郵送でのやり取りになったこと。私達がサービス計画の名簿の中に図書館協議会委員として名前を列ねている中で、郵送でやり取りしてしまいこういう結果になってしまったことについては、非常に後悔というか残念である。最後の最後までしっかり見届けたいと思っている。もちろん大事なのは基本なことだが、もう少し審議を尽くせば良かったということ、最後に残念なところを補っていきたい。

(委 員) 資料の送付ありがとうございました。まとめるのは大変だったと思う。最後に拝見させていただいて、一番気になるのは72ページの「第5章計画の推進に向けて」というところだが、事務局から項目や目標値の説明があったが、それにしてもこれちょっと簡略過ぎるというか、郵送での意見でも書かせてもらったが、せっかく35ページの第4章まで積み上げてきたイメージが、第5章のこれからの計画にあんまり反映されていない。少なくとも35ページの図書館サービス計画に挙げられた項目は、指標の中に反映しないのか。見て残念だと思った。わかりやすいものとか実施計画に入っているものを使用したといっていたが、10年の活動の基になるサービス計画なのでそこはきちんと押さえてほしかったと思う。その変更は、大きな変更になるから変更してもらえないのか。そこは、検討してもらえないか。

(事務局) 72ページの指標ですが、上位計画の実施計画とリンクしている。項目と合っているのでこういう拾い方をしている。
35ページの施策については、先程、言ったサービス評価指標は、それはそれでまたある。それが根本的にあるので72ページの指標だけではない。もっと細かい指標がある。

(委 員) 第4期図書館サービス評価指標の目標設定シート見た。少なくともそこに載っている項目ぐらひは、ここに載せてもらってもいいのかと思う。

- (事務局) 実施計画に載っていてわかりやすい項目になっている。
- (委員) わかりやすいって何ですか。
元となるものだから、網羅しなくてはいけないのではないかな。
- (事務局) なかなか指標というか、具体的にどれだけ私達が子どもたちに本を提供できるかというのは指標があって、市民アンケートなどと思うが、なかなか上位計画があってこういう形になった。
- (委員) 上位計画の直しは出来ないのか。見直しをする時期があると思うが、たぶん不備だと思うので、上位計画を見直していただくしかない。
例えばこの表で児童の対象事業はあるのに一般対象事業がない。
例えば、高齢者サービスとか障がい者サービス、多文化とか、そういう項目をいちいち入れる必要はないが、だったら児童対象の事業があるのに、一般対象事業とすれば、大人の人たち高齢者の方達のサービスにも網羅するわけで、その辺のところを上位計画があるからと言っても上位計画が間違っているわけで、修正をかける時期が来たら是非立てていただきたい。
- (事務局) 議会の方でも答弁があったと思うが、実施計画の見直しを諮るところで間に合っていない。
- (委員) 合わせるようにというのは、担当課から何か指導があるのか。
- (事務局) 合わせるように担当課から指導というよりは今、実施計画自体も人口がなだらかに下がるように実施計画がなっている。人口推移がなだらかに下がっていくようになっているが、それが今の現状と合わないという事で、そういったところでの見直しがある。その時に指標も合わせて見直していく。
- (委員) 表のところで、上位計画をちゃんと聞いて引っ張ってきているので説明がつくと思う。この指標のところは現状に合わせて作り直すことは必要なのではないかと意見として言わせていただくことと、あともう一つ受入れ点数の例えば、20,000点のところでは一人300円増やすということは大変良いことだと思うが、この児童の受入れ点数は別枠とみていいのか、それとも20,000点の中に入っているのか。その説明も欲しいと思う。

令和15年度に20,000点、図書資料受入点数とあり、その下に児童受入点数で4,300点となっているが、24,300点を令和15年度には目標値にするということか。

(事務局) これは、内数である。

(委員) その説明を入れて欲しい。出来れば、一般対象事業も加えて頂きたい。

(議長) そのことについて、協議会として是非考えていただきたいという事でよろしいか。
では、協議会から意見としてご検討いただきたい。
中間の評価があるが、毎年毎年、年度の評価が当然ある訳で、それが計画に微調整は出来るのか。

(事務局) もちろん出来る。

(議長) それはPDCAのサイクルでいき、5年後に総合的にまた評価を受け、ここで毎年、協議会の意見を聞いていく訳だが、中間できちんとまた見直しがされていくということによろしいか。
見直しにあたって、こういうところをはっきりと伝えた方がいいという意見は貴重だと思う。

(委員) 長くなって申し訳ないが、後10個ぐらいあるが続けていいか。

(議長) 続けていい。

(委員) 郵送でやり切れなかったもので、5ページをお願いしたい。人口一人当たりの蔵書冊数などの表だが、非常に細かくて見にくい。印西市のところをかつこでわかりやすくしてもらえないか。意見として言わせていただく。次に行かせていただく。
21ページの本埜図書館からのメッセージのところだが、それぞれの説明のところに、ここの図書館だけ丁寧に「おります。」となっているので、合わせて、「ご用意しています。」と「おり」を取っていただきたい。次に行かせていただく。31ページの「6つの市立図書館に求められること」だが、複合施設と小倉台図書館は単独だが、小倉台図書館で「図書館単独の建物であることを生かしたサービスの充実が求められる。」と

なっているが、どのようなサービスなのかと疑問に思った事と、それから5つの施設は複合館施設である訳で、今回のサービス計画の題目にはつながる図書館という事なので複合館施設は繋がるという事なので、他の施設と連携が取れると思う。公民館や児童館、出張所など何でもいいので連携を取って図書館の利用に繋げると事業が一番しやすいと思うので、その辺のところを念頭に置いていただき事業をやってもらいたい。特に大森図書館は、市役所が近いので行政各部署との連携を取っていくとなっているので、他の施設も複合施設なので、必ず連携事業は出来るはずなので、その辺のところは、念頭に置いて事業を進めていただきたい。小倉台図書館の単独事業は何なのか気になったしだいである。次に行かせていただく。

(議 長) 今のところで、何かコメントがあればお聞きしたい。

(事務局) 今日お配りした、資料の中にもあるが、小倉台図書館の単独事業ですが、遡るが、小倉台図書館の施設を活かしてコンサートを行ったり、開館の時は、ちょっとしたお祭りの様なことなど色々行っていたので、そのようなことを行いやすい施設ではある。ただ今後、人員的なこともあるので、単独館であるという自覚をしたうえで事業転換した方がいいのではという事で改めて書いたが、地域の方々と連携して何か行うなど、そういう事も考えられる。

(委 員) 39ページ(3)レファレンスサービスの説明の四角に囲われている左側のところだが、「図書館利用者に対する利用案内(指導)」となっているが、指導という言葉は取った方がいいのではないかと思うがいかがか。意見としていわせて頂く。

(議 長) この意味合いは。図書館の方で指導と付けた意味は何かあるのか。

(事務局) 調べ方や検索の仕方などで指導になったと思う。

(議 長) ご案内にしようというとか、もっと調べて検討して欲しい。
では、次をお願いしたい。

(委 員) 42ページに行かせていただく。

(2) 図書館事業の開催だが、印西市は児童サービスについてはよくボ

ランティアさんと連携して行っているが、一般向けの事業については大変少ないと思う。それで考えたが、印西市は歴史ある市なので郷土史に興味がある方って市民の中にたくさんいると思うので、もっと郷土について知ってもらう講座を開催して貰えないかなと思った。意見です。よろしく願いしたい。

53ページに行かせていただく。(3)デジタルアーカイブのところだが、印西市にゆかりのある歌人、吉植さんというのですか。私、存じてなく大変申し訳ないが、これこそ下に余白があるので、説明資料を付けていただけないか。何てお読みするのでしょうか。

(事務局) 吉植庄亮（よしうえしょうりょう）と読む。

(委員) 説明文を付けていただいたりするといいかなと思う。
次に行かせていただく。58ページ(3)ヤングアダルト（青少年）について、図書館だけで頑張らずに中学生とか高校生を取り入れて、何か事業を開催して貰えるようなことを考えてもらいたい。
司書達は大人なので、中学生や高校生をもっと何か取り込んで、図書館事業の中に一緒に何かやってもらえるようなことをしたらどうか。図書館での職業体験はあると思うが、もう少し何かフラットな事を取り入れて貰えないか。もう少し工夫をして貰えないかと思う。
72ページの計画の推進に向けての1サービス評価の指標のところ、もう少し丁寧に入れてもらえたらいいと考えている。長くなったが以上である。

(議長) 具体的にここというご意見と、これからの取り組みに対する要望と2つの思いが委員の中にあったと思うが、吉植さんのことや72ページの事、文言の整合性、「しております」を「しています」など、そういうところの修正、意見だと思うので、是非ご検討していただきたい。
よろしいか。

(委員) はい。

(委員) 今、おっしゃったところで、一般の事業の中で今回、子文連のニュースレターNo.19が出たが、その中に書いてあるのが、鳥取市の図書館がやっているのが、夜の時間に楽しめる講座をやっている、是非そういう事も念頭に置いて楽しい図書館づくりをして欲しい。

- (議 長) これからの要望として覚えておいて頂きたい。
- (委 員) 65ページの(2)市民団体との連携というところで、入れてもらえたらいいなという事がある。私達は木刈親子読書会、印西子どもの連絡会と市民団体として活動させてもらっているが、連携という事で是非図書館ホームページに図書館に関わる市民団体の紹介のページを載せて欲しいと思う。
- 51ページ(2)図書館ホームページの充実と利用促進の項目もあるので、図書館のホームページを開いたら読書に関わる事など、もっと市民に提供出来ると思うので入れてもらいたい。
- 成田の図書館のホームページを見て貰うと一緒に活動している市民団体が紹介されていて、市民団体の活動にも活力を与えてくれることにもなるので、そういう関わりを持っていきたいと思っている。
- 参考にしていただけたらと思う。
- (議 長) 外部リンクで繋がるようにしていくのか、どういった紹介が出来るのか検討していただけたらと思う。
- よろしいか。
- 他に何かあるか
- (委 員) 74ページの印西市立図書館協議会委員名簿のところで、まず経歴という項目が、ちょっと内容と合っていないのではと思う。しかも内容が、私のところは学識経験者となっているが、私はそうなのかとちょっとあれと思うところがある。参考になるのが、87ページの答申のところに同じように名簿があるが、そちらの中身の方が現実かなというのが一つと、87ページの備考というのが何かしっくりこないで両方合わせるようにしていただきたい。経歴という項目ですが、船橋市のサービス計画は、選出条項という項目になっている。成田市のサービス計画では、選出区分というタイトルがついている。参考にしていただけたらと思う。
- (議 長) 74ページの方は、条例のこういうところから選出しますという記載だと思う。ある部分で自分は、そうなのかという捉え方になると思うが、教育委員会は、選出する場合の資格者、認定の条件等を合わせながら選出されてきているのではないかというのがもしかしたらあるのではと思う。

答申の方はまた違うので、今の自分の立場で書かれていると思う。
これは、揃える必要があるのか、そうでないのか私達には何ともいえないが。こういうように書いた意図はあるのか。

(事務局) 年報の図書館協議会の委員の名簿を基にしている。

(議長) そこから来ていると言う事で、年報との整合性を諮ったという事か。
答申というのは、私達の側から図書館にあげるので、私達がどういう者なのかというそういうところだと思う。

(委員) 年報に載っているのが、そもそも合っているのかという事か。

(議長) 委員は、学識経験者の枠のなかで任命されている。

(委員) それなら経歴ではおかしい。

(議長) その経歴というのは、年報にも経歴となっている。

(委員) それを変えてもらうということは出来ないのか。
経歴を年報の方にも学識経験者や学校教関係者となっているのを学校の名前までは入れなくても教師とか私なんかも学識経験者になっていて、おどおどしているが、例えば年報を見たときに私もやってみたいなと思っている人がこの経歴を見て「私、学識経験者じゃないからダメだわ」と引いてしまう方もいると思う。そこをもう少し分かりやすく標記してもらうか、協議会委員になる人の立候補する人が出てくるのではないかな。

(委員) 図書館協議会委員は、図書館法で各市町村の図書館が任命するという事になっている。そしてその任命の選出候補としては、印西市立図書館の設置条例の図書館協議会委員のところにあるが、年報でいうと45ページだが、答申のところにも入っていると思うが、そこに「協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。」となっているので、これは変えがたい。
経歴という表現はどうかと自分は思う。選出区分や選出条項など成田市や船橋市のような表現ならいいと思うが、図書館法としては、選出条項が決まっているので、そこにあてはまっていなくてはいけないので、こ

- の記入については間違いではない。
- (議 長) 経歴では、少し引かかるので、選出条項ではどうか。
- (委 員) 経歴ではないと思う。合わせて答申の方は、経歴でいいのではと思うが、備考になっているので、提出してしまったので変えられないが、答申の方は、経歴でよかったと思う。
- (議 長) その辺をご検討していただけたらと思う。
他にあるか。
只今のサービス計画（案）について意見があった部分について修正箇所をもう一度、確認したい。「しております。」を「しています。」それから「指導」の部分を取る、それと72ページ一般の事業対象も入れて欲しいというのは、検討していただきたい。
他に何か修正箇所等はあるか。
あとは、吉植さんの事を紹介するような文言を入れて欲しいという事を図書館で検討していただきたい。
- (委 員) 本埜図書館の吉植庄亮氏著作コレクションのとなりの写真が見にくい。これはコレクションの紹介なのか。もう少し分かりやすい表示の仕方はないか。
- (議 長) それは編集のところでよりわかるようにという事と、それからもう一つあったが、5ページの表で印西市がもっと分かりやすいようにしてもらいたい。
- (事務局) 修正できる。
- (議 長) ぱっと見て印西市が分かるようにしていただきたい。
そういった個所を修正していただきたいという事で、この印西市立図書館サービス計画（案）を了承するという事でよろしいか。
- (委 員) (挙手をもって賛成)
- (議 長) では、「印西市図書館サービス計画（案）について」は事務局で修正し、私達、「印西市立図書館サービス計画」を承認したとする。
議題1については終わらせていただく。

議題（２） 「令和６年度印西市立図書館運営方針（案）及び令和６年度事業計画（案）
について」

（議 長） では、続きまして議題２の「令和６年度印西市立図書館運営方針（案）及び令和６年度事業計画（案）について」を議題とする。事務局から説明をお願いしたい。

（事務局） < 配布資料２に基づき説明 >

（議 長） 只今、事務局から説明があったが、この内容に関して質疑等はあるか。

（委 員） 令和６年度から、いよいよ作ってきたサービス計画。スタートするわけで、今日は予算審査と伺った。もちろん議会の可決がなければ予算の事は発言できないと思うが、一番重要な印西市の図書館の課題は図書館の職員の少なさと資料費の少なさだと思う。
職員の人数や人事に関しては３月末までわからないと思うが、ただ新人司書を募集したかはこの時点でわかると思うし、もう一点については、資料費は果たして増額要求してどこまで通っているのか、さわりでいいので教えていただきたい。

（事務局） 職員の司書枠での採用は無かったと思う。
任期付職員は１名増となっている。
来年度の予算だが、図書備品購入費に関しては、５００万円の増額を要望している。

（委 員） ありがとうございます。
図書館の運営が成功するには、施設と職員と資料費と言われている。
印西市の場合、各駅圏に６館もあって住宅街の利用しやすいところにそれ相当の規模の図書館がきちんと設置されているので、今、利用が多く、ずっと利用者が多いまま成功してきていると思うが、任期付ではなく、正職員がまず少ない。
それから資料費が、県内の平均値以下というのをまず捉えていただいてすぐに増額とか定数条例もあるので、なかなか厳しいと思うが、せっかくいい場所にいい図書館が沢山あるので、やっぱり中身に心を入れてもらわないといけないので、是非、職員と資料の買換えを含めて増額をずっと要望していただきたい。

- (議長) よろしくお願ひしたい。
サービス計画の実現に向けてお願ひしたい。
- (委員) 会計年度任用職員が採用されるということは、低賃金化の雇用の継続で雇用の継続が保証されないということなので、みなさん分かっていると思うが、今、55歳くらいの方が正職員という状態なので、早急に臨時職員ではなく正職員を採用するという事を早目にした方がいい。
よろしくお願ひしたい。
- (議長) 合わせて5年間スパンで、どういう人事計画をやっていくかをやっていると思うが司書資格のある正職員をどういった形で増やしていけるのか、その人事計画はよく知っていた方がいい。
サービス計画案を最終的に教育委員会にあげると思うが、それをやっていって欲しい。
- (委員) 印西市図書館基本方針と運営方針の資料をいただいて、ちょっと分かりにくいと思った。今、事務局から最後に説明があったが、サービス計画の挙げられた項目が、事業計画のどれにリンクしているのか分かるような資料にしないといけないと思っていた。せっかくサービス計画の最新版を作ったので、例えば基本方針、4つの柱を挙げたと思うが、その項目を実施計画にリンクするように、そしてそれが具体的にどの事業名か、どれを実現させるためにやっているのかがわかるようにまとめてやっていただくと後で振り返った時にいいと思うので、作り変えなくてはといていたのが良かったが、いつ提示されるのか。
協議会があれば良かったが、次の協議会なのか。
- (事務局) 次の協議会は、委員の委嘱や今年度の事業報告、事業計画で、もしかしたらリンクさせた案を提示出来るか、第2回になるか今はちょっとわからないが、第1回か第2回には、議題に載せられるのではないかと思います。
- (委員) 年度が始まってしまうので、このサービス計画のこの項目が、これになっていると、どの事業をやるというのを明らかにしてもらえればいい。
- (事務局) 結果については、令和6年度を入れて令和7年度に図書館協議会に提出して、そこで評価を受けるという事から始まるので、来年度は、サービ

ス計画に基づいて評価指標を作った。第1回目は、事業計画や予算で、
どういった事業をするのか改めて資料を作成し、意見をいただき、第2
回では、これで行きましょうかという協議会になると思う。

(議 長) 72ページにPDCAサイクルがあって、プランドゥチェック、アクションというようにサービス計画基本方針が出ていて、さらに施策があり、これを基にして、令和6年度はこのプランに対してどう行うのか、そこ
までないと良くわからない。そして実際やってみて、チェックの時にそこ
にチェックをして行く。その時にある面で、協議会で諮ってどういう
アクションが必要なのか、内部で評価をして、私達第三者の意見を協議
会で聞いていく。それはまた、令和7年度のプランになっていく。それ
がずっと繋がっていると中間の時には非常に良く分かる。だからPD
CAをやり方に沿った記述の仕方、それを今やっておかないと、なかな
かある面でいい評価が、なかなか見えてこない。
せっかく35ページに上手に纏めているので、これについてサービス計
画が具体的になっているので、その都度、年度で強化してもらえると、
私達は良く分かる。図書館サービス計画に基づく取組みだけでは良く分
からない。
それから、こちらの方も主催事業の報告なので最後でもいい。
こういうことをやるというのは資料に出ているので、どういう事を重点
的にやるのか。是非PDCAをどう上手くやっていくのかを評価したら
私達は助かる。
先程の委員の質問に対して追加させていただいた。
他に質疑はあるか。

(委 員) 新規事業も入れ、一般向けの事業も入れてなかなか良かったと思った。
1ページ目のところで、印旛、そうふけ、本埜図書館でブックコート体
験講座とあるが、今までの定員何名で参加者が何名あったのか。ブック
コート体験というのは、私もやったことはあり出来るようになったが、
需要はあるのか。これは市民が求めている、是非やってほしいという毎
年やる事業なのか。それとも違う事業をやった方がいいのではというの
はないのか。

(事務局) ブックコート体験事業は、関われるスタッフがいないので、参加人数も
4人ぐらいと少ないが、終わった後のアンケートで、「もっとやって欲し
かった。」という意見と当日具合が悪くなり参加できない方もいて、割と

地味な事業だが、人気がある。大人向けの事業に入れていいのかというのはある。少人数なので、もっと違う講座があってもいいのではと思うが、わりとブックコートの講座は人気があるという事で継続した。

(委 員) 体験された方が、ブックコートを覚えて図書館のブックコートの作業にお手伝いをお願いすることはあるのか。

(事務局) ブックコートについては、個人の本を図書館と同じようにブッカーをかける事を学んでもらう講座なので、ボランティアでという事は考えていない。

(議 長) よろしいか。
他に何かあるか。
令和6年度の実施内容の（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書館の貸出窓口準備とあるが、具体的に何処に設置するのか。

(事務局) 現在工事中で、今の地域交流館の後ろに複合施設が建ち、中央駅前出張所の辺りが駐車場になる。
入口に総合案内が予定されていて、そこで本を手渡しするという形になる。その他にオーパックの設置や市民開放パソコンを置く。
その場で検索や本の予約や紙での予約も受付ける

(議 長) それは、小倉台図書館の保全改修のためか。
継続的にやるのか。

(事務局) 継続的なもので、中央駅南側の利用者から小倉台図書館が遠いという事で、貸出窓口をどうしようかと考えた時に、その建物の計画が挙がり、そこに図書の貸出窓口を設置しようという事になった。

(議 長) そういう事情があると分かった。
他にはどうか。

(委 員) 今、出ていたオーパックというのは何か。

(事務局) 各図書館に設置されているが、図書を検索するものである。

- (委 員) パソコンの事か。
- (事務局) そうである。
- (委 員) 質問だが、小倉台図書館の保全改修工事期間中は、実施設計は令和 5 年、6 年となっているが、工事は何月と決まっているのか。
- (事務局) 工事がいつからという事か。
基本設計と実施設計を令和 5 年と 6 年の 2 ヶ年で行っている。
実際の工事については、はっきりとは言えないが、令和 7 年の秋以降の予定だが実際いつからという事は決まっていない。
- (委 員) 令和 7 年の夏までは普通に開館しているのか。
- (事務局) 令和 7 年の秋からとなると 10 月からとなるが、他の図書館も改修工事が入っているので遅れることもあるかも知れないが、秋以降を予定している。
- (委 員) 小倉台図書館の改修工事は令和 7 年の秋以降という事だが、完成予定はいつなのかは分かるのか。
- (事務局) まだ分からない。工事のスケジュールもまだ何も決まっていない。
- (議 長) よろしいか。
それでは、令和 6 年度印西市立図書館運営方針（案）及び令和 6 年度事業計画（案）について色々御意見が出たが、それも含めていただいて了承という事でよろしいか。
挙手をお願いしたい。
- (委 員) （ 挙手で賛成の意 ）
- (議 長) ありがとうございます。
了承されました。

議事（３） 「その他」

（議 長） 議事（３）「その他」について事務局より何か議題にすることはあるか。

（事務局） ありません。

（議 長） ６・その他について、事務局より何かあるか。

（委 員） すいません。その他で宮下文庫の説明をいただけると、個人的に会議が始まる前に説明は受けたが、皆さん聞きたいと思う。
お金の流れというかその説明をお願いしたい。

（事務局） 担当課は、学務課になり調べてもらった。
金額だが、宮下文庫が３７００万円で各学校に配分し購入した。
宮下文庫の金額だけで市から予算は出ていないのではというところだが、２年度、３年度、４年度の３ヵ年で市からは約４００万円支出された。

（委 員） ４１００万円のうち宮下文庫さんから出したお金で賄って、市は約４００万円程度の金額を出しておしまいになっている状況を今知った。
これを踏まえて感じている事だが、ここにいるメンバーというのは、図書館に携わる人、もしくは学校の教務の方もいる。学校で図書館に携わっているという事で、図書館協議会の議事録の中に学校図書館について全く議題がないという事がとても不思議に思っている。今現在も思っている。
ここに教員の方もいらっしゃるのだから学校図書館の現状も踏まえてより良い図書館づくりをするというのが協議会のあり方だと思う。公共図書館だけではなくて、公共図書館、学校図書館が連携を取っているからこそ印西市の図書館は成り立っていると思っている。縦割りで学務課だからとかではなく図書館協議会であり方を問われると思う。
私は、図書館協議会で学校図書に関して全く触らないのはおかしいとおもうが、それに対して、みなさんどうか。

（議 長） 今の意見を話合いのテーブルに載せるか。
今の意見について支持する人はいるか。
ここで少し話し合うという事。その提案について話し合いましょうと支

持する方はいるか。

特になければ、そういう意見があったという事でいいか。

(委 員) 学校の司書の先生の事とか思う事はある。週に一回しか来ないとかあるが、それは部署が違うということで、この会議の話ではないのかなと思う。

(議 長) では支持しないという事か。
ここでは、選出が違うからということで、もう議論に入っている。

(委 員) 図書館協議会は、公共図書館の協議会であるので学校図書館のことまで協議するのは難しいと思う。しかし、図書館法により公共図書館には、学校教育を支援し、学校と連携協力を行う役割があることから、学校図書館での窓口となる学校図書館司書の保市が望まれる。隣接市では各学校に一人は配置されているが、印西市では、2～3校に一人の配置と遅れていることや、寄付金が学校図書館の蔵書を増やすために活用されなかったことを知って大変残念に思った。大森図書館は「子どもの読書活動推進計画」の事務局となっており、公共図書館との関りが強い学校図書館の事についても、知っていることや良くなってほしいことなど意見を述べていて良いと思う。図書館から担当課に図書館協議会からの意見を伝えてもらいたい。

(議 長) サービス計画の原形となるものがあるので、さらに学校の関係者に学校の図書館事情をお伝えしていただければ、ある面で公立図書館の連携や必要性というものをこの場で色々議論していくことが出来るのではないかと思う。

(委 員) 図書館サービス計画の中の83ページ(4)学校との連携協力という事で、最後の行に「市の学校図書館にも早期に学校図書館司書の全校配置を望みます。」と書いてある。なので、学校図書館について少し触れてくださいという事。

(委 員) 答申の中にある。

(議 長) 学校から教育委員会にその要望は送られるのか分からないが、どのような仕組みで、教育委員会に学校図書の司書を増やして欲しいという

要望ができるのか。そういう事も考えていった方がいいのではないか。

(委 員) 学校図書館司書の配置について、読売新聞に載っていたので紹介する。学校図書館司書の配置は自治体によって差があるものの配置することによって貸出冊数が10倍になったとの事である。私の知っている学校図書館司書の人たちはモチベーションが高い。児童生徒に本を読んでもらうために努力し、やり甲斐を持って働いている。この新聞には印西市の担当者のインタビューが載っている。「千葉県印西市の担当者は、財政が厳しく賃金の低さから学校図書館司書を募集しても人数が確保出来ず、大規模校ですら選任司書を置けない。」と答えている。印西市は待遇が悪い。一人で2～3校を受け持ちながら低賃金という厳しい労働条件では人は集まらない。隣接市はもう随分前から各学校に一人を配置している。印西市の学校図書館を良くするために学校図書館司書は各学校に一人の配置を行っていただきたい。

(委 員) 印西市が、こんな大きく読売新聞に載っているのは恥ずかしい。是非会議録に残していただきたい。
残すべきである。本当に恥ずかし事である。
私達は、学校も公共図書館も一緒にいい図書館づくりをしたいから、今ここにいます。是非、学校図書館についても学校の先生からも発言して欲しい。個人的だが是非会議録に載せていただきたい。

(議 長) 議事録に載せてください。

(委 員) 学校図書館は審議する場所や意見を出す場所がない。
教育委員さんや社会教育委員さんが、そういう現状を知っているかは疑問である。

(議 長) 連携をこれからしていくので、そういう議論が出てもいいと思う。
ありがとうございました。
今回が、最後の委員会だが、再選される方もいると思うが、直営にするかしないかで運営の仕方の諮問があつて、それに対して、協議会でも時間を使って答申もでき、またサービス計画の協議が出来た。
今後のサービスのあり方が改善されていくことを願っている。
みなさんの活発な意見交換、また協議をいただき議長として感謝している。

委員の皆様ありがとうございました。
進行を事務局にお返しする。

(事務局) 「 委員の皆様にお礼の言葉 」

(事務局) 本日の予定は、すべて終了いたしました。
これをもちまして、令和5年度第5回印西市立図書館協議会を終了させていただきます。
委員の皆様2年間ありがとうございました。

令和5年度第5回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

令和6年4月24日

印西市立図書館協議会

委員 栗山 由香